

自分らしく

細田中学校 1年 原井 悠衣

制服、勉強、部活動、新しい仲間…。4月に始まった中学校生活はどれも新鮮で、私に心地よい刺激を与えてくれました。

ところが一方では、自分の意見を素直に発表したり、学級委員としてクラスをまとめたりすることに難しさを感じている自分がいました。周りの目を気にするようになっていたのです。批判的な人、責める人はいないと分かっているはずなのに、周りにどう思われるか、どう見られているのかが常に気になります。これまでの自分とは違う。そんなことも感じていました。一体、なぜなのでしょう。

それは、自信のなさからきているのかもしれませんが。入学後すぐに始まった体育大会の練習では、先輩方が引っ張ってくださったおかげで、団で一致団結して活動することができました。しかし、先輩方についていくばかりで、自分で考えて行動するとなると、「本当にこれでいいのか。」と迷い、ためらってなかなか行動に移せません。先生から「もっとできるはずだ。」と励ましていただいたにも関わらず、とうとう最後まで自分の殻を破ることはできませんでした。

悩んでいたときに生徒総会で決まった取組が、「挑戦の木」です。日南市中学生憲章の1つである「挑^{いどむ}」に全員が取り組むのです。自分に自信をもつためにも、たくさんの経験を積むことは大事なことだと思います。「あのとき、こうしたから大丈夫。」そう思えると自分の言動にも自信がもてるのではないのでしょうか。やる前から「失敗するかも…。」「私には無理だ。」と思うのではなく、「できるかもしれない。」「やってみよう。」と前向きな気持ちで挑戦すると、次につなげることができるはずです。

それからの私は、英語暗唱プレコンテスト、英検、漢検、数検と、いろいろなことに挑戦してきました。そして、目標に向けて努力したという事実は、私に達成感と自信をもたらしてくれました。

私は今、生徒会副会長としてよりよい学校生活を目指し、活動しています。同時にようやく、自分を出せてきたと実感しています。自信が自分を引き出してくれたのです。

これからもたくさんのことに挑戦し、経験を積んでいくつもりです。そして、自分の言動に自信をもち、自分らしくいられるようにしたいと思います。